

小4理科 出題のねらいと対策

1 秋、冬の植物と動物 76.9%

ねらい：夏から秋、冬に見られる植物や動物のようすについて、理解しているかを問う。

分析と対策：(2)サクラやイチョウ、カエデのような木は、秋になると葉の色が変わります。身近にある木を観察してみましよう。(3)季節ごとのこん虫のようすをしっかりと確認しておきましよう。

2 ものの温度と体積 64.3%

ねらい：空気や水、金ぞくはあたためると体積が大きくなることや、水より空気の方が、その変化が大きいことなどを理解しているかを問う。

分析と対策：空気や水、金ぞくは、どれもあたためると体積が大きくなることを確認しておきましよう。また、もとの温度にもどせば体積ももとにもどることや、もとの温度より冷やせば、体積は小さくなることも、覚えておきましよう。

3 月と星 55.0%

ねらい：どのような形の月が、いつごろどの方角に見えるか、星座や、星座をつくる星について理解しているかを問う。

分析と対策：(2)～(4)いろいろな形の月が、いつどのように見えるかを確認しておきましよう。また月は、およそ1か月で同じ形にもどります。(6)(7)星座の名前と形、その星座をつくる星の名前、動いていくときのようすなどを整理して覚えておきましよう。

4 天気と気温の変化 46.4%

ねらい：気温をはかる道具やはかり方、1日の気温の変化と天気についての理解を問う。

分析と対策：(1)百葉箱は、気温を正しくはかるために、とびらの向きやかべのすきまなどに工夫があります。どのような工夫があるか確認してみましよう。(3)天気による1日の気温の変化をしっかりと確認しておきましよう。

5 空気や水の性質 56.4%

ねらい：空気や水をおしたときのようすを理解しているかを問う。

分析と対策：空気がおし縮められていくにつれて、もとにもどろうとするはたらきが大きくなっていきます。空気の体積の変化と、もとにもどろうとするはたらきの関係を確認しましよう。また、水はおし縮められません。水と空気の性質のちがいについて確認しましよう。

6 もののあたたまり方 46.7%

ねらい：金ぞくや水のあたたまり方やあたたまるようすについて、理解しているかを問う。

分析と対策：金ぞくは、加熱されたところから順にあたたまります。加熱されたところが同じならば、金ぞくをかたむけてもあたたまり方は変わりません。このようなあたたまり方を、伝導といいます。また、水や空気は加熱されると上の方へいき、それにおしのけられた部分が下に動いて、全体がまわるようにしてあたたまります。このようなあたたまり方を、対流といいます。

全体の平均点は57.7点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。
個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましよう。